

報道関係者各位



「全国灯台文化価値創造プロジェクト」活動開始

2019年度の「恋する灯台」認定灯台を発表

北海道から沖縄県まで、日本全国9エリア9基の灯台を「ロマンスの聖地」として認定

全国灯台文化価値創造プロジェクト事務局は、全国各地の団体と協働して海へのムーブメントをつくりだす日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、「全国灯台文化価値創造プロジェクト2019」を実施します。その活動の第1弾として、日本全国に存在する灯台の中から「恋する灯台」の選考を実施しました。2019年度は、9エリア9基の灯台を「恋する灯台」と認定し、6月より各自治体への表敬訪問を行ってまいります。

「全国灯台文化価値創造プロジェクト2019」は、灯台を“ふたりの未来をみつめる場所”としてとらえ、「ロマンスの聖地」として再価値化するプロジェクトです。観光資源としての灯台を「ロマンスの聖地」として認定し、その価値を上げることで灯台に訪れる人が増え、さらに海への関心も高まることを目的に活動してまいります。この活動を通して、「ロマンスの聖地」というキーワードを軸にこれまで埋もれていた「灯台」の文化や歴史的価値を可視化し、自治体が主体となった地域おこしの機運を高めていきます。

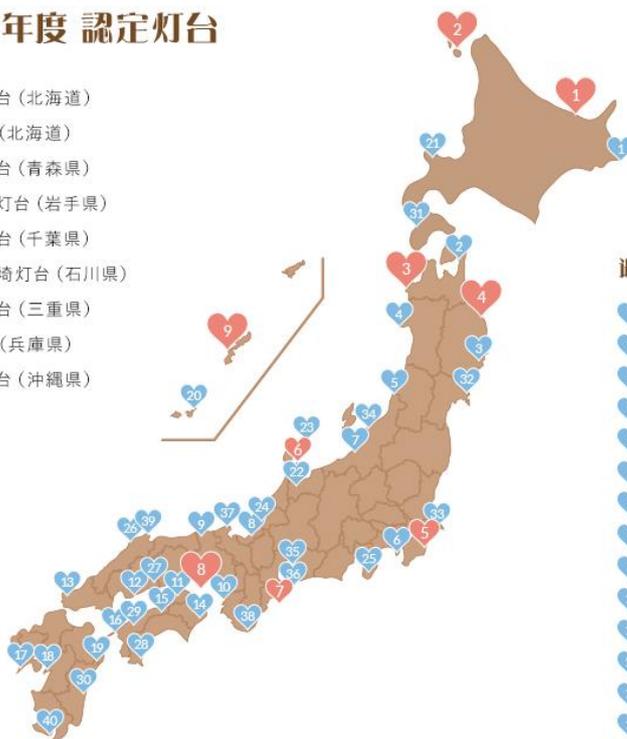
■発表！2019年度認定灯台

日本ロマンチスト協会強化委員の中から選抜したロマンス宣教師を中心とした有識者で構成された選考委員会によって定めた審査基準（次ページ）に則って、2019年は以下の9エリア9基の灯台を「恋する灯台」として認定します。



2019年度 認定灯台

- 1 能取岬灯台（北海道）
- 2 鴛泊灯台（北海道）
- 3 艦作埼灯台（青森県）
- 4 陸中黒崎灯台（岩手県）
- 5 太東埼灯台（千葉県）
- 6 能登観音埼灯台（石川県）
- 7 大王埼灯台（三重県）
- 8 江埼灯台（兵庫県）
- 9 残波岬灯台（沖縄県）



過去の認定灯台

- 1 湯沸岬灯台（北海道）
- 2 尻屋埼灯台（青森県）
- 3 碓石埼灯台（岩手県）
- 4 入道埼灯台（秋田県）
- 5 鼠ヶ関灯台（山形県）
- 6 安房埼灯台・城ヶ島灯台（神奈川県）
- 7 能生港灯台（新潟県）
- 8 立石岬灯台（福井県）
- 9 余部埼灯台（兵庫県）
- 10 友ヶ島灯台（和歌山県）
- 11 六島灯台（岡山県）
- 12 大久野島灯台（広島県）
- 13 角島灯台（山口県）
- 14 蒲生田岬灯台（徳島県）
- 15 高松港玉藻防波堤灯台（香川県）
- 16 佐田岬灯台（愛媛県）
- 17 伊王島灯台（長崎県）
- 18 湯島灯台（熊本県）
- 19 鶴御埼灯台（大分県）
- 20 平久保崎灯台（沖縄県）
- 21 神威岬灯台（北海道）
- 22 岩崎ノ鼻灯台（富山県）
- 23 祿剛埼灯台（石川県）
- 24 越前岬灯台（福井県）
- 25 爪木埼灯台（静岡県）
- 26 出雲日御碕灯台（島根県）
- 27 佐木島灯台（広島県）
- 28 足摺岬灯台（高知県）
- 29 釣島灯台（愛媛県）
- 30 細島灯台（宮崎県）
- 31 鳴島灯台（北海道）
- 32 大須崎灯台（宮城県）
- 33 飯岡灯台（千葉県）
- 34 角田岬灯台（新潟県）
- 35 野間崎灯台（愛知県）
- 36 菅島灯台（三重県）
- 37 経ヶ岬灯台（京都府）
- 38 壱野崎灯台・潮岬灯台（和歌山県）
- 39 美保関灯台（島根県）
- 40 薩摩長崎鼻灯台（鹿児島県）

<「恋する灯台」審査基準>

PLACE （場所）	…日常を忘れさせて、ふたりの“恋する気持ち”を刺激するロケーションか	【非日常感】
HISTORY （歴史）	…心揺さぶられる感動的な逸話、後世に語り継ぐべき歴史を有するか	【物語感】
ACCESS （道のり）	…たどり着く道のりが、ふたりの心を近づけ、恋心の高まりを感じられるか	【到達感】
ROMANTIC （ロマンティック）	…心が開かれていく自由さと、夢見る気持ちに広がりを感じられるか	【創造感】
OCEAN VIEW （景観）	…空と海の青が広がり、世界の果てを感じさせる壮大さを感じられるか	【最果て感】
SHAPE （形）	…魅力的なフォルムと、屹立するさまに孤高の美を感じさせるか	【造形美感】

※以上6つの要素の頭文字は「PHAROS（ファロス）」。ファロスとは紀元前3世紀ごろにエジプトのファロス島に伝説の「アレクサンドリアの大灯台」が建造されたことから、フランス語やスペイン語で「灯台」の語源となった言葉です。



■「全国灯台文化価値創造プロジェクト2019」活動概要

2019年度、「恋する灯台プロジェクト」では以下の活動を行っていく予定です。

1) 新規恋する灯台認定

2) 新規認定9エリアにてリーフレット制作

地域資源や地点情報をロマンティックな視点や発想で切り取り、その地域でしか体験できない“特別なアクション”へと落とし込む、日本ロマンチスト協会発のオリジナリティにこだわった仕上りを目指します。全国の“恋する灯台のまち”を舞台に、その地域の人々の協力を得ながらクエスト（ここでしか味わえない体験）を創り出し、恋する灯台を巡りながら2人の仲が深まる10のコトを開発します。

3) 他業種とのコラボによる全国灯台文化価値創造フォーラムイベントを実施

異業種を巻き込んだイベントを開催することで、海洋文化価値向上の可能性を追求します。

4) 全国認定灯台自治体との連携によるゴミ拾い

日本財団「海と日本プロジェクト」が推進している海洋ごみ対策プロジェクト「CHANGE FOR THE BLUE」の活動の一環として、全国認定灯台自治体との連携によるごみ拾いイベントを開催します。

5) 全国認定灯台エリアにおける一斉アクション

【日本財団「海と日本プロジェクト」とは】

日本財団「海と日本プロジェクト」とは、2015年に「海の日」20回目を記念し、日本財団の主導で推進しているプロジェクトです。次世代を担う子どもたちを中心として多くの方々に「海の日」の意義について認識を深めてもらうとともに、海への好奇心を持ってもらい、行動を起こすムーブメントを作り出すことを目指しています。

【「日本ロマンス協会」とは】

「地球環境や世界平和も大事ですが、ロマンスという“大切な人を世界で一番幸せにできる人”が増えると、夫婦環境や恋人環境ばかりか、社会全体が豊かになるかもしれない」、ということに気がついたトキメク大人たちがはじめた秘密結社。

長崎県雲仙市愛野町を「ロマンスの聖地」として本部を設置し、2008年5月より活動を開始。2008年6月19日に「ロマンスの日」を制定。「ジャガイモ畑の中心でロマンスを叫ぶ」、「愛の聖地復興プロジェクト」など、数々の話題を巻き起こし、活動を拡大中。現在、クリエイターやアナウンサー、タレント等の放送文化人、経営者などの財界人を中心に約1600名（2019年5月現在）の会員組織として活動中の一般社団法人。

<報道関係者様からのお問い合わせ>
「全国灯台文化価値創造プロジェクト2019」運営事務局
メール：toudai@japan-romance.com
HP：http://romance-toudai.uminohi.jp/